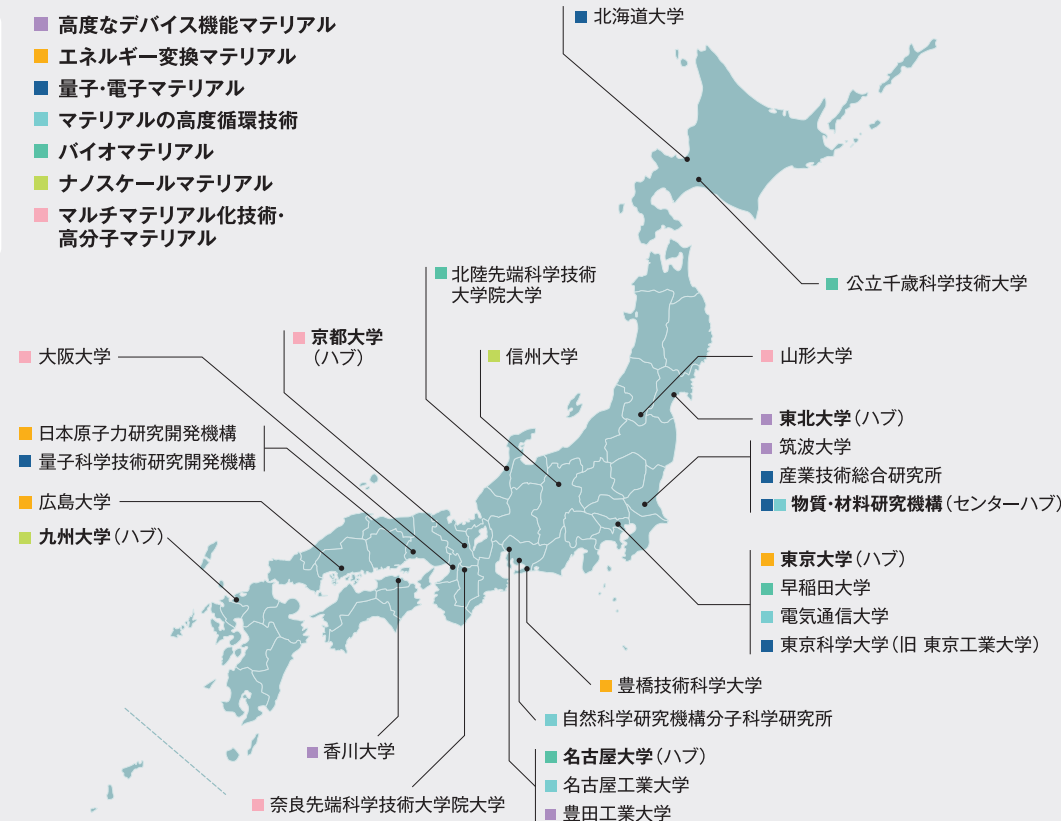


マテリアル先端リサーチインフラの推進体制（全26法人）

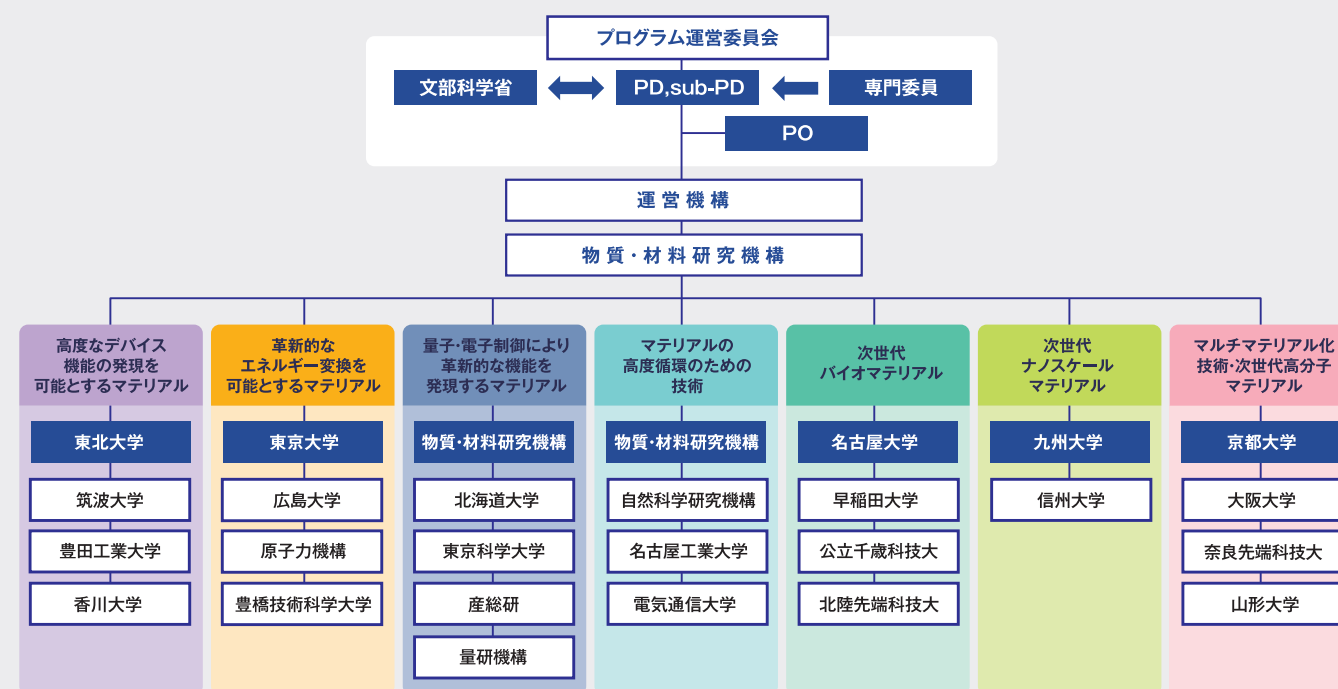
センターハブ
物質・材料研究機構

ハブ

東北大学
東京大学
名古屋大学
九州大学
京都大学



マテリアル先端リサーチインフラ 実施体制図



お気軽に
お問い合わせ
ください。



お問い合わせフォーム

※会員登録後にご利用可能となります。

データ利用の範囲やわからないことがあれば、
お問い合わせフォームからお問い合わせください。

https://nanonet.go.jp/data_service/page/guideline.html



©問い合わせ先 物質・材料研究機構 技術開発・共用部門 マテリアル先端リサーチインフラセンターハブ データ共有化推進室



データポータルサイト ヘルプデスク
https://nanonet.go.jp/data_service/

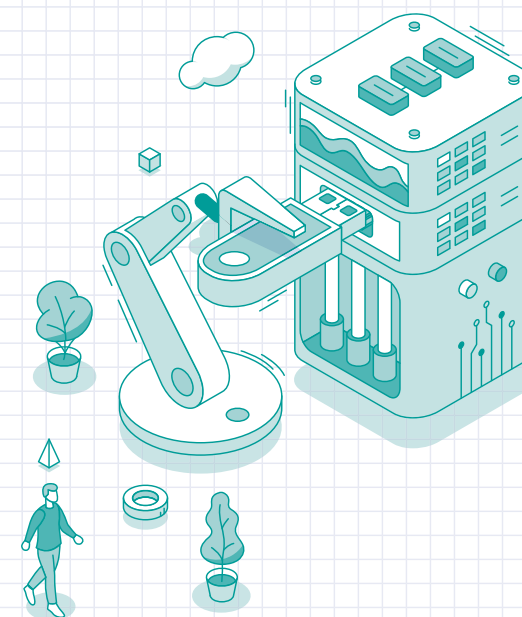


2025年11月発行

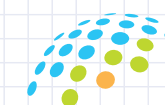
ARIM DataPortal GUIDE

ARIMデータポータル案内

Material Development

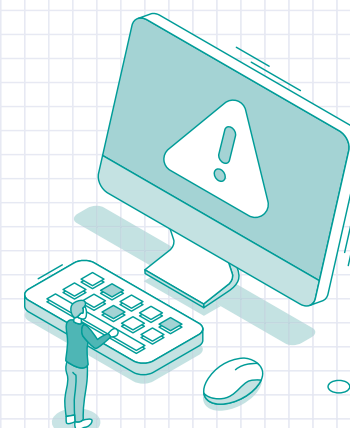


ARIM
DataPortal



ARIM Japan

https://nanonet.go.jp/data_service/



リアルな実験データで マテリアルAI研究を加速する

世界初、大規模マテリアル実験データ共用サービス始動



AI Readyなデータセット

装置固有のデータ前処理が不要。
AIや機械学習に即座に活用可能。



豊富なデータカタログ

約1,000台の機器を含む豊富なデータセットを
データカタログで瞬時に検索。



シームレスなデータ連携

26機関で共通なデータ形式により、
データマッシュアップが円滑に。

ARIMデータの特徴

01 世界初のリアル実験データ

欧米の計算データサービスとは異なり、実
際の共用装置で得られたリアルな実験デ
ータを提供。ベストデータ以外にも含む貴重な
データセットです。

02 AIフレンドリーなデータ構造

装置ごとに異なるデータ形式を、AIや機械
学習で読み込みやすい形に共通化して構造
化しています。データ駆動型研究を強力に
サポートします。

03 LLMに最適! 豊富なメタデータ

測定条件、プロセスデータ、サンプル情報な
ど、研究に必要な詳細情報が完備。AIマテ
リアルアシスタントなど、LLMによるマテリア
ルAI開発に活用できます。

04 継続的なデータセット拡充

エンバーゴが解除された新しいデータが
随時追加され、年間数十万件ずつ増加予
定です。常に最新の実験データを提供し
てゆきます。

05 引用up! データセットDOI付与

データセットにDOIを付与し、論文にならな
かった結果も成果として早期公開、引用も
可能。研究成果の可視化を促進します。

06 多様なマテリアルデータ

先端計測データから半導体・デバイス加工ま
で、幅広いマテリアル研究分野をカバーす
る豊富なデータセットです。

データユースケース

01 AIエージェント開発への活用

過去の実験データから最適な条件を見つ
け、実験の成功確率を向上させたい! 失敗
データも含むため、AIエージェントのツール
開発に活用できます。

02 計算データとの統合活用

理論計算データと実験データを組み合わせ
ることで、より精度の高い材料設計や予測
モデルの構築が可能になります。

03 マテリアルAI教材への活用

実際の研究現場で得られたデータをAI教
材として活用できます。次世代研究者向け
により実践的なマテリアルAI教育を提供
できます。



マテリアルAI研究の可能性を広げよう

これまでデータ不足で諦めていたマテリアルAI研究が、今始められます。
リアルな実験データで、あなたの研究を次のステージへ。

各データセットの特徴

本サービスで提供されるデータセットには、

Open と **License** の2種類のバッジが付与されています。

データセットの種類	Open	License
データセットの数	59 ※2025年11月時点	862 ※2025年11月時点
会員登録の有無	不要	必要
料金	無償	有償
利用申請の有無	不要	必要
利用報告書の提出	不要	必要

毎年、続々と
増加中!

データセットには
2種類のバッジが
付いています。



OPENデータ(無償)を利用する場合

Open バッジがついているデータセット

会員登録不要で、ダウンロード可能です。
ARIMのデータセットの構造化様式の確認などのご活用いただけます。

Licenseデータ(有償)を利用する場合

License バッジがついているデータセット

ARIMにおけるデータ利用は、以下の4つのステップで進みます。各段階で必要となる手続きや
ご協力をお願いする作業がございますので、申請や書類提出の際は余裕をもってご対応ください。

1 会員登録(随時:無料)

日本国内居住者かつ法人所属の方が対象です。会員登録では料金は発生しません。

2 利用申請(随時:無料)

◎利用者による申請内容

・利用責任者の設定 ・共同利用者の設定 ・各種同意事項の確認

◎事務局による対応

・課題の承認と課題番号の付与 ・料金体系の確認 ・請求書発行

3 ダウンロード許可(入金確認後)

事務局で入金の確認後にダウンロード権限を付与します。
年度末までダウンロードが可能となります。

4 利用報告書の提出(年度末)

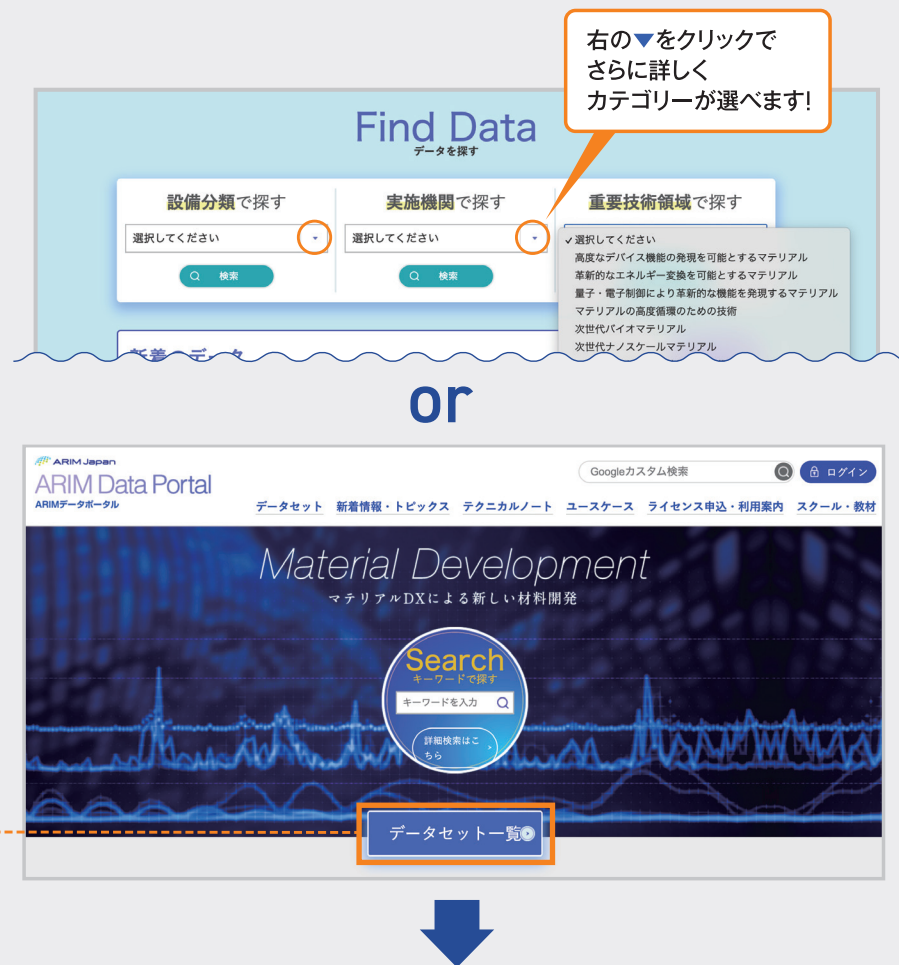
利用報告書をご提出ください。(事務局よりご案内します。)
提出後、翌年度にポータルサイトで公開されます。



詳しくは P6~P9へ

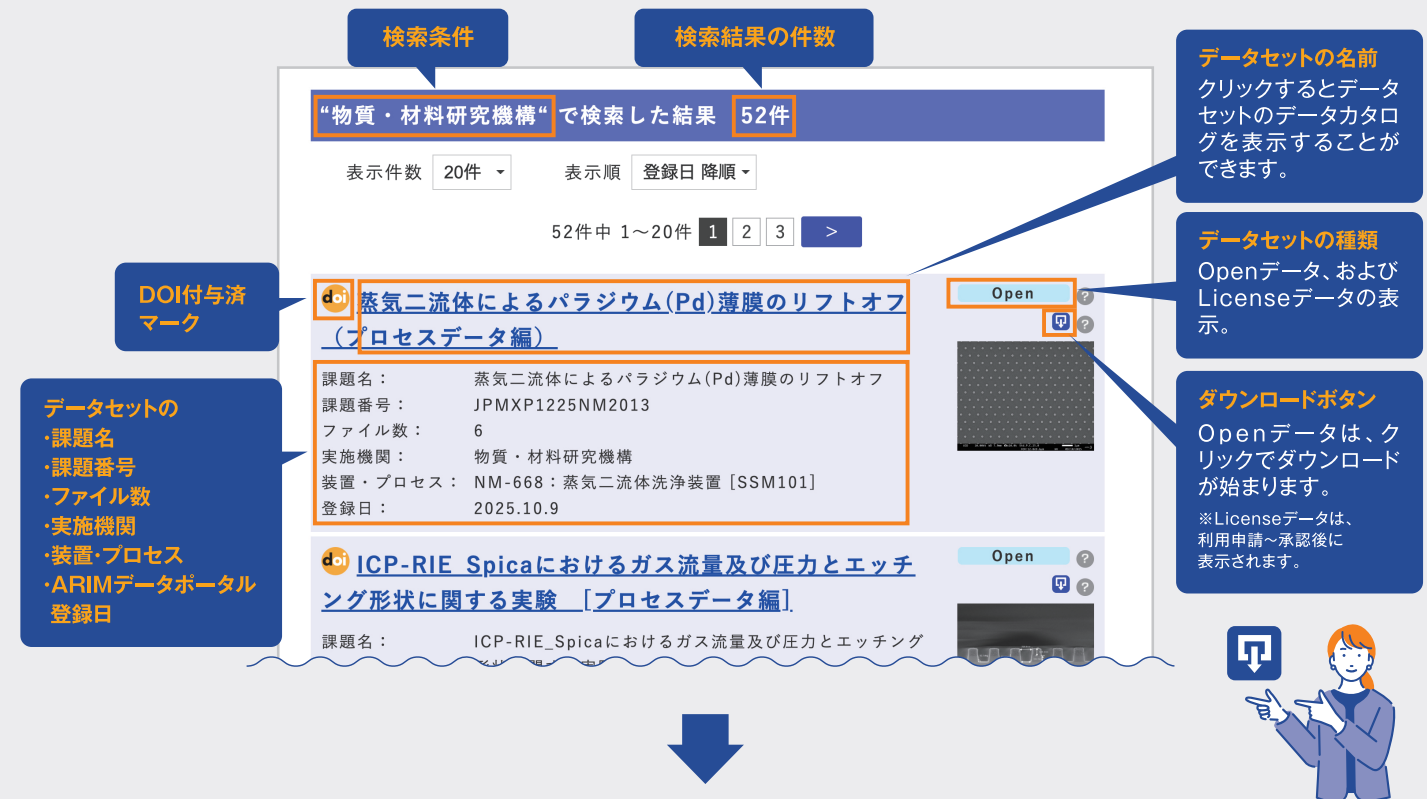
データセットを
検索する。

TOPページの
データセット一覧を
クリック

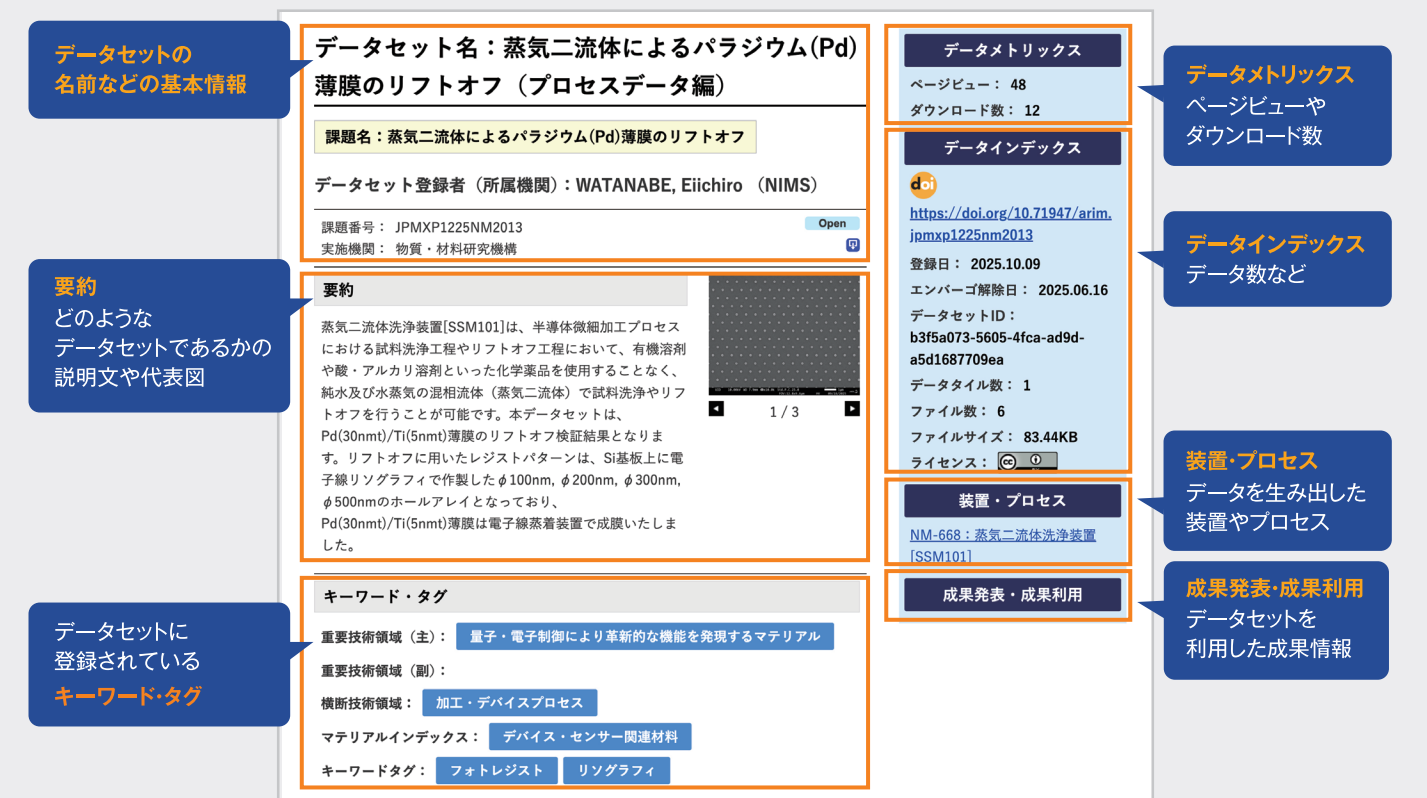


データカタログを見る。

【データセット一覧の基本構成】

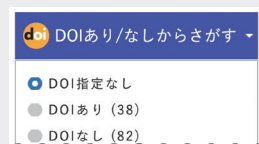


【データカタログの基本構成】



9つの検索条件から
検索可能!

- 1 フリーワード検索
- 2 DOIあり・なし



- 3 データ区分
- 4 利用課題年
- 5 実施機関
- 6 重要技術領域
- 7 横断技術領域
- 8 設備分野
- 9 マテリアルインデックス



Licenseデータ（有償）の利用申請～ダウンロードまで

1 会員登録（随時：無料）

データ利用の申請（課題申請）には、**事前の会員登録が必要です。**

会員登録を完了されていない方は、申請手続きを進められませんので、必ずあらかじめ会員登録をお済ませください。

メールアドレスの登録

『会員登録フォーム』にてメールアドレスを入力し、届いたメールから会員登録を進めます。
アカウント発行には次の2つの条件を満たす必要があります。

- 1. 外為法の要件を満たす者
- 2. 日本国内の法人に属し、法人が事業内共用の利用を承認する者
※組織に属さない個人や海外在住の方にはユーザー会員登録（ID発行）はいたしませんのでご注意ください。

データ利用約款への同意

ARIMデータポータルサイトでのデータ利用については
「**マテリアル先端リサーチインフラデータ利用約款**」（以下、データ利用約款）に同意していただく必要があります。

My Page
マイページ

会員登録フォーム

以下のフォームに必要事項をご記入の上、「入力内容を確認する」を押してください。
※は必須項目です。

約款への同意 **※必須**

☐ マテリアル先端リサーチインフラデータ利用約款に同意する
[マテリアル先端リサーチインフラデータ利用約款を確認する](#)

重要説明事項への同意 **※必須**

☐ ARIMデータポータルの会員登録に関する重要説明事項に同意する

申請者情報の入力

申請者情報

区分 **※必須**

☒ 大企業

☐ 中小企業

☐ スタートアップ企業

☐ 大学等

☐ 公的研究機関

☐ NIMS

責任者情報の入力

登録には**責任者（管理監督者）の情報も必要**です。

入力内容を確認する を押して入力が完了しますと仮登録が完了となります。

責任者情報

責任者 **※必須**

☐ 申請者は組織で管理監督者の役職がある者
※チェックがない場合には以下の責任者情報の入力が必要です。

区分

☐ 大企業

☐ 中小企業

☐ スタートアップ企業

管理監督者とは

労働基準法で定められた「監督若しくは管理の地位にある者」で、労働条件の決定や労務管理において経営者と一体的な立場にある従業員を指します。

責任者 および 事務局による承認

申請者の入力情報は、**責任者へ承認依頼メールが送信**されます。申請内容を確認して承認をしてください。
責任者による承認後に事務局による確認を経て承認が行われます。

2 利用申請（随時）

マイページの「利用申請タブ」から利用申請を行ってください。

My Page
マイページ

マイページ（会員情報）

利用申請

コンテンツ

ダウンロード履歴

利用報告書

お問い合わせ

ログアウト

利用申請

新規登録

利用申請情報の入力

ご利用になるライセンスの単位や区分をご確認の上、利用申請情報を入力してください。

利用申請

修正

利用申請情報

利用単位

☒ シングルライセンス（1人単位）

☐ グループライセンス（5人以上一律）

利用区分

☐ 公共・アカデミア

☐ 一般

利用開始希望日

2025/11/07

※利用料金は、ご希望の利用開始日をもとに計算してご請求します。
アクセス権は入金確認後にお渡ししますので、ご希望日までに利用したい場合は、余裕を持った日程をご指定ください。

利用年度

2025年度

◎ライセンス料金について

利用人数と所属する組織（公共・アカデミアか一般企業か）によって、適用される料金が異なります。

ライセンス種別	利用人数	契約者	料金（月額）
シングル	1～4名	公共・アカデミア	1,000円（税別）/1名あたり
		一般（企業等）	2,000円（税別）/1名あたり
グループ	5名以上	公共・アカデミア	5,000円（税別）/1グループあたり
		一般（企業等）	10,000円（税別）/1グループあたり

◎料金に関する注記事項

契約形態	本サービスの利用契約は 年度単位（毎年4月1日から翌年3月31日まで） とします。
支払い	利用料金は、利用契約が成立した月から当該年度末までの月数に応じた料金を、 機構が指定する期日までに一括で前払い するものとします。 計算例：（公共・アカデミア、シングルライセンス 2名で 10月に利用開始の場合） 月額 1,000円 × 6ヶ月 × 2名 = 12,000円（税別） （10月～年度末3月まで）
契約内容の変更	契約期間の途中におけるライセンス種別の変更（例：シングルからグループへ）、および利用人数の減員に伴う返金はいりません。利用人数を追加する場合は、第5条に定める手続きに準じるものとします。
契約の解除	契約期間の途中における契約者都合での解除は認められず、その場合でも支払済みの利用料は返金いたしません。

▶ 次のページへ続く

2 利用申請の続き

◎「共同利用者」の登録

「共同利用者」がいる場合には「利用申請」の一覧から共同利用者の登録を行ってください。

利用責任者も
ご利用される場合は
登録を行ってください。

重要技術領域	☒ 高度なデバイス機能の発現を可能とするマテリアル ☐ 革新的なエネルギー変換を可能とするマテリアル ☐ 量子・電子制御により革新的な機能を発現するマテリアル ☐ マテリアルの高度循環のための技術 ☐ 次世代バイオマテリアル ☐ 次世代ナノスケールマテリアル ☐ マルチマテリアル化技術・次世代高分子マテリアル
横断技術領域	☒ 計測・分析 ☐ 加工・デバイスプロセス ☐ 物質・材料合成プロセス
共同利用者	※共同利用者の追加、削除は利用申請の登録後、メニュー「利用申請」の一覧から行えます。

利用責任者情報

利用責任者	☒ 共同利用者（入力代表者）と同じ ※チェックがない場合には利用責任者の選択が必須です。 利用責任者を選択するにはメールアドレスを入力して検索ボタンを押してください。 なお、利用責任者のメールアドレスは事前に会員登録されている必要があります。 お手数ですが、利用責任者の方に事前に会員登録をお済ませいただくようお願いください。
利用責任者の確認	☐ 「利用責任者」とは、本利用課題において共同利用者によるライセンスデータ等の管理を行うことが可能な立場にある者であり、所属機関を代表して本約款に同意し本サービスの利用及び構造化データのライセンスを申し込む権限を有している者です。（データ利用約款第5条第1項（4））

一時保存する

入力内容を確認する

◎利用責任者

- ① 事前に会員登録することで、「検索」ボタンをクリックで、利用責任者のメールアドレスが表示されます。会員登録をされていない場合、「検索」しても表示されません。
- ② 利用責任者もご利用される場合には、上記の「共同利用者」の欄に入力してください。

◎申請の提出

「利用申請」の一覧から「申請ボタン」を押して正式に申請を提出して下さい。

記載漏れがあると
先に進めません。

利用申請完了



スムーズにご利用いただくために

～お申し込み・お支払いのご案内～

本サービスは **料金前払い制**となっており、
ご入金の確認が取れ次第、データのご利用を開始いただけます。

3 ダウンロード許可

◎利用責任者および事務局による承認

申請者の入力情報は、**責任者へ承認依頼メールが送信**されます。申請内容を確認して承認をしてください。
責任者による承認後に事務局による確認を経て承認が行われます。

承認依頼メール

ARIM データ利用申請・利用責任者
○○ ○○ 様

文部科学省 マテリアル先端リサーチセンター（ARIM）データ利用事務局です。

ARIM データポータルサイトのデータライセンスの利用利用登録より以下の利用申請がございました。
つまりは、お手続きをお願いいたしますが、下記内容をご確認の上、ご承認をお願いいたします。

【利用申請情報】

利用課題番号：JPRMXP12**0A****

課題名：[△△△△△△△△]

共同利用者：×× ××

利用責任者：○○ ○○

【ご確認・ご承認方法】

共同利用登録からの申請であることもご確認いただけます。以下のリンクよりログインしていただき、メニュー「利用申請」から対象の利用申請の「承認する」を押してください。

ログインURL：https://nanonet.go.jp/data_service/arim_data.php?mode=login

※万が一、心当たりがない申請の場合は、上記URLの下部にある「差し戻し」をしてください。

ご多忙のところ恐縮ですが、ご対応のほどよろしくお願い申し上げます。



お手続きにかかる期間について

お申し込み受付後、**請求書の発行までに5営業日程度**のお時間をいただいております。
ご利用になりたい日から逆算し、お早めにお手続きいただくと安心です。

月末月初の申請について

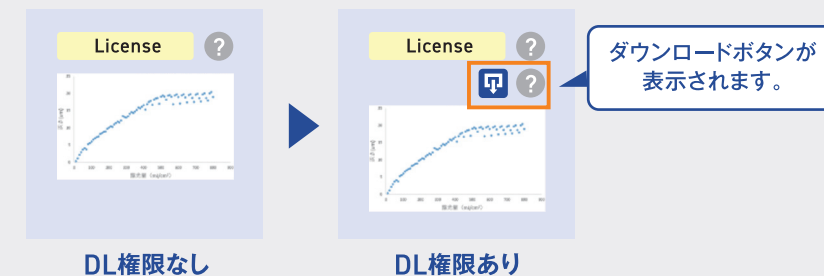
お手続きのタイミングによっては、**課金開始月が翌月**になる場合がございます。
ご希望がある場合は、お気軽にご相談ください。

お急ぎの場合

お振り込み完了後、その旨を**メールで事務局にお知らせください**。
優先的に確認手続きを進めさせていただきます。

◎入金とダウンロード権限の付与

承認が行われましたら、事務局から請求書のご案内をいたします。
事務局で入金の確認後にダウンロード権限を付与します。



年度末までダウンロードが可能に!



4 利用報告書の提出(年度末)

◎利用報告書の提出

ライセンスデータの利用課題申請を行い、
当該年度に一度でもデータをダウンロードされた利用責任者、
または共同利用者の方は、利用報告書のご提出をお願いします。

※ **Open** バッチのデータセットについては利用報告は不要です。

◎利用報告書の書式と記載例

ライセンスデータの利用事例について、当該年度の終了後に、ARIMが定める書式にてご記入ください。
※書式は、後日ウェブサイトに掲載いたします。

よくある質問

Q 利用責任者も会員登録が必要でしょうか？

はい。利用申請には、利用責任者の承認が必要になりますので、**事前に会員登録**を済ませてください。

Q 利用責任者は、どのような責任が必要ですか？

共同利用者のメンバーを含めたデータ利用全体を管理・監督する責任があります。
詳しくは**データ利用約款の第5条**をご覧ください。

Q 共同利用者とは？

「共同利用者」とは、利用責任者と同一の契約者に所属し、利用責任者が管理する利用課題申請においてライセンスデータを共同で利用する者として、利用責任者により指定された個人をいいます。

Q OpenデータとLicenseデータの違いは？

Open バッジ

会員登録や利用申込は不要で、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスのもと、**無償**で自由にご利用いただけます。
ARIMのデータセットの構造化様式の確認などの見本としてご利用いただけます。

License バッジ

ご利用にあたっては、**利用申込ならびにライセンス料金が適用**されます。
また、利用についてはARIMデータ利用約款にかかるルールが適用されます

Q 利用区分で「公共・アカデミア」と「一般」の違いは？

所属されている組織の種類による違いです。
「公共・アカデミア」は国や自治体、大学、公的な研究機関など、公共性の高い組織や学術機関を指します。
「一般」は主に営利を目的とする民間企業などを指します。

Q ARIMに登録されたデータはポータルサイトで全て見ることができますか？

エンバーゴ期間が終了後には、データカタログ（書誌情報）が公開されます。
登録したデータ（ファイル）が 直接サイト上に公開されるわけではありません。



Q データセットは誰でも入手できますか？

いいえ。データのライセンスを受けることができるのは、日本国内に在住する方のみです。
海外機関・海外研究者へのデータライセンスは行いません。
また、法人に所属しない個人の方にはライセンスをいたしません。



【データ利用のライセンスを付与する対象】
国内の産官学の機関が保証する研究者・技術者

1 外為法の要件を満たす者

日本国に居住する日本人や6ヶ月以上 日本国に居住をする外国人など外為法上の居住者。ただし居住者であっても特定類型に該当する場合は事前に経産省の許可が必要。

2 日本国内の法人に属し、法人が事業内共用の利用を承認する者

以下の方へは、**アクセス権を付与しません。**

海外の研究機関や企業に所属する方

法人に属さない個人（日本人含む）

Q データセットで「***非表示***」と書かれているものがあります。エラーですか？

データ登録者のご依頼により 氏名や組織名は非表示化を行うことができるようになっております。
非表示化できる項目は、以下の5つとなっています。

非表示とする項目

- ☒ 課題名
- ☒ 課題番号
- ☒ データセット名
- ☒ 氏名
- ☒ 所属機関名

登録画面（例）

DataSet
データセット

データセット名: *****非開示*****

登録日: 2024-03-01 ページビュー: 625 ダウンロード数: 5

データセットID	40222-1515-1245-41222
ファイルサイズ	1217348778
データ数	3
課題番号	JPMXP12*****
課題名	*****非開示*****
エンバーゴ期間終了日	2024-03-01 10:40
開設日時	2024-03-01 10:55
データセット	
装置名	200KV原子分解能走査透過分析電子顕微鏡

課題名、課題番号、氏名、所属機関名、データセット名を非開示とすることができます。

Q DOIのバッチがあるデータセットとDOIのバッチがないデータセットがあります。その違いは何ですか？



ARIMでは、データの共有と普及を促進するため、データカタログの記載情報が一定の基準を満たしたデータセットにDOIを付与しています。
DOIは、課題ごと、または利用された機器やプロセス単位で作成されたデータセットが対象となります。